

## 半嶺満県教育長メッセージ(生徒向け)

みなさんもすでに新聞報道などで知っていることと思いますが、今年5月、本県において中学生が、大麻を所持していたとして逮捕されました。

今日は、違法薬物の恐ろしさを、真剣に受け止めていただきたいこと、そして、危険な薬物の広がり食い止めなければならないとの強い思いで、皆さんに、メッセージを送ります。

さて、薬物乱用と聞いて、みなさんは、どんなイメージを持っていますか？

みなさんもお存じの通り、薬物は1回使用しただけでも「乱用」にあたります。

使う回数が増えれば増えるほど、例えば、自分の体に虫が這いつくばっているような感覚や幻覚、いつも誰かに呼ばれているような幻聴、自分が鳥のように飛べるといった妄想、そのような感覚が、いつの間にか、あなたの心をむしばみ、体を破壊していくことになります。

薬物は、自分の意志でコントロールできないほど依存性が高く、薬物を手しようとして犯罪行為を行うなど、普段の生活にも悪影響を及ぼすだけでなく、場合によっては、一度使用しただけで、死亡する恐れもあります。

薬物依存症の完治はきわめて難しいことから、みなさんには、「絶対に手を出してはいけない」ことをしっかりと認識してもらい、友だちや先輩などから誘われても、勇気を持って「断る」ことができるようになってほしいと強く願っています。

インターネットを使っていて危険な情報を目にしたことはありませんか？

近年、薬物が密売買される手段として拡大しているのがSNSです。SNS上では大麻などを意味する別の言葉や言い回しを使って危険なサイトへ導かれる内容が多く投稿され、大きな問題となっています。

そのような投稿を見つけても絶対に誘いに乗ってはいけません。こういった違法薬物の入手のしやすさの他にも

◎大麻について、「有害性はない」「少くなら大丈夫」「タバコより害が少ない」などといった誤った情報

◎闇バイトを代表とする、買う人に届けるだけで、小遣いが稼げるといった、アルバイト感覚のような罪の意識の低さ

◎「他人に迷惑をかけなければ、大丈夫」といった考え

◎「ちょっとだけなら」「友達がやっているから」などの遊び感覚

◎「かっこいい」などのファッション感覚による使用

が若者の間での増加の要因ではないかと考えられています。

しかし、薬物乱用は「犯罪」です。決してかっこいいものではないのです。

みなさんは、学校生活をとおして、正しい行動選択が取れる強い意志を作り上げているところだと思います。

しかしながら、ややもすると悪い方向へ向かおうとする親友や仲間がいるかもしれません。

その時は声をかけてあげたり、信頼できる大人へ相談したりするなどして、大切な親友や仲間を救ってあげてください。

繰り返しになりますが、みなさんのまわりには、SNSやインターネットなどから多くの誘惑があります。

また、先輩や友人、悪い大人から薬物への誘いがあるかもしれません。

そのような誘惑に負けないよう、「薬物はダメ。ゼッタイ！！」という強い思いで勇気を持って行動してください。

これまで、県教育委員会では、先生方へマニュアルを配布したり、研修会を行ったり、各学校では、外部講師による講話や、保健体育の授業、学級活動

などを通して、みなさんが薬物に手を出さないように取り組んできました。

しかし、そのような中で、本県中学生が大麻所持で逮捕されたことは、大変残念であり、若者の間で薬物がまん延している現状に、強い衝撃と危機感を感じているとともに、あらためて「極めて深刻な事態」であると受け止めています。

我々、大人は、みなさんが困ったときに頼れる存在となり、みなさんを危険な薬物から守るため一丸となって薬物乱用防止に取り組んでいきます。そして、みなさんの夢実現に向けて、私たち大人は全力で応援し、支えます。

みんなで一緒になって、薬物乱用の心配のない安心して過ごせる学校にしていきましょう。